

資源のゆくえ



今回は、普段皆さんによって分別される資源が、どのようなものにリサイクルされるのかを写真でご紹介します。

今回掲載している資源のゆくえについてはHPでより詳しく説明しています。また、他のごみについても取り上げていますので、ぜひご覧ください。
HPアドレス：<http://www.city.niigata.jp/info/haiki/>

プラスチック製容器包装 (巻・岩室・西川・潟東地区を除く)



収集後、コンベアで破袋機に投入し袋を破ります。



汚れたもの、中身が入っているもの、ペットボトル等の異物を手作業で取り除きます。



(↓運搬パレット)



(↓杭、擬木、車止め)

各再生工場に運ばれ、プラスチック製品に生まれ変わります。



(↓ペレット)



(↓インゴット)

粉碎、洗浄、脱水を経て粒状(ペレット)にしたり、溶融してかたまり(インゴット)にし、プラスチック製品の材料として利用されます。

【手作業で除かれた異物の事例】

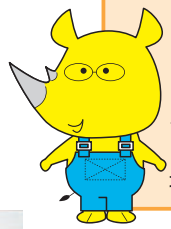
(汚れたもの、中身が入っているもの)



(混入したペットボトル)



汚れたものや中身が入っているものは、リサイクルできません。またペットボトルは、より品質の良いリサイクルができるため、プラスチック製容器包装とは別のルートでリサイクルを行っています。分別はしっかり行い、汚れは落として出しましょう。(汚れがひどい場合は「燃やすごみ」に出してください。)



選別後、運びやすいように1辺1メートル、約300kgのかたまり(ペール品)にし、リサイクル業者に引き渡します。



「プラスチック製容器包装」とは、中身を使い切ったり、取り出した時に不要になる**プラスチック製の容器や包装**です。



このマークが目印です



以下はプラスチック製容器包装としては回収していません！

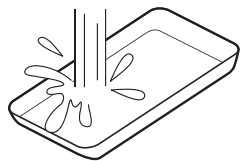
材質はプラスチックでも、容器や包装でないものは収集しません。



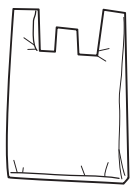
出し方



①中身を使い切る



②汚れがあるものは洗う



③無色透明・半透明のポリ袋に入れて出す

これらは「燃やすごみ」に出してください。

※血液が付着したものは、市では処理できません。かかりつけの医療機関にご相談ください。

飲食用びん

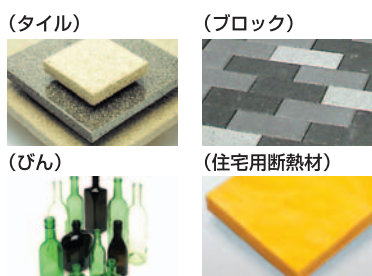


収集後、コンベアに乗せ、※リターナブルびんや異物を除きます。
※洗って再使用するビールびん、一升びんなど



(↑選別後の無色びん)

色別に選別します。



(タイル)

(ブロック)

(びん)

(住宅用断熱材)

びんや、建築・土木材料へとリサイクルされます。
〈出展:「ガラスびんリサイクル促進協議会」より〉

リサイクル業者に引き渡し、破碎、ふるい、選別等の工程を経てカレットというガラスびんの材料に加工します。

飲食用缶



収集後、コンベアで破袋機に投入し、袋を破いた後、磁力でアルミ缶とスチール缶を選別します。



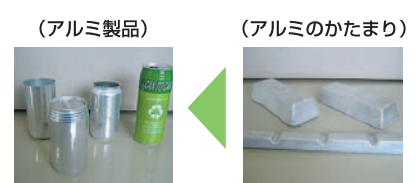
約65cm×65cm×20cmのブロックに圧縮します。

〈スチール缶〉



製鉄所の電炉や高炉で溶かし、建築資材や自動車、スチール缶などにリサイクルされます。

〈アルミ缶〉



(アルミ製品)

(アルミのかたまり)

リサイクル業者に引き渡し、約700℃以上の高温で溶かしてかたまりにした後、缶などのアルミ製品にリサイクルされます。